

# 保・小連携のあり方

## 大田区立久が原保育園の事例

大田区の基本方針



大田区立保育園目標



久が原保育園保育目標



カリキュラムの中で大事にしていること



現在の連携のあり方

# おおた教育振興プラン

未来を担う子どもたちを育てます

幼児期から小中学校までを  
見通した教育の推進

- 幼児理解を深める研修会の充実・英語活動プログラムの検討・実施
- 幼保・小の交流及び連携の推進・体力向上プログラムの検討・実施
- 生活規範意識向上講座等の実施・新たな教育課題に関するプログラムの検討
- 幼児教育相談の実施・情報連携の推進
- 規範意識向上プログラムの実施・教科・行事における連携の推進

# 人間力向上アクションプラン

- 幼児教育から義務教育9年間を通し、各発達段階に応じた達成感、自立性、規範意識、人間関係形成能力を育成し、おおたの子どもたちが健やかな身体と自己肯定感・自己決定力を育み、未来への希望に満ちた豊かな人間性を身につけられるよう支援します。

- 幼児理解を深める研修機会の充実
- 「早寝・早起き・朝ごはん月間」の実施
- 幼保・小の交流及び連携の推進
- 食育推進、基本的な生活習慣の確立
- 生活規範意識向上講座等の実施
- 体力向上プログラムの検討・実施
- 規範意識向上プログラムの実施
- 全保護者を対象とした家庭教育学習会の実施
- 幼児教育相談の実施
- 家庭・地域教育力向上支援事業の充実
- 全児童・生徒に対する個人面談の実施
- 道徳授業地区公開講座の充実
- 特色ある学校教育活動の推進

# 幼保・小の連携を推進します

- 体験を広げる交流活動を充実させるとともに、子どもの成長を一貫して支援するにあたり、各教育機関の教員同士の相互の連携を図るための研修や情報共有を推進します。

事業項目 事業項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終年度の 目標・方向性
幼保・小の 交流及び 連携の推 進	指針策定		交流・情報連携の実施			全校実施

一部抜粋

# 大田区立保育園目標

◎子どもが今を最もよく生き、  
望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う

## 久が原保育園の保育目標

◎こどもひとり一人の個性を尊重し、今をより豊かに生き、自分らしくまた将来の担い手として生きる力の基礎を培う。

- 健康で元気な子
- 自分を好きになり、人の気持ちが感じ取れる子
- 自分の気持ちや考えを言葉で表現し行動できる子
- 好きなことに意欲的に取り組み、また興味、活動を広げられる子
- 仲間や周りの人の存在を大切に思い、協力したり助け合ったりすることを喜びにできる子

# 久が原保育園の概要

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
さくらんぼ組	いちご組	みかん組	りんご組	ぶどう組	すいか組	
11人	15人	16人	17人	18人	18人	95人

## 職員構成

園長・保育士(常勤保育士・非常勤保育士)

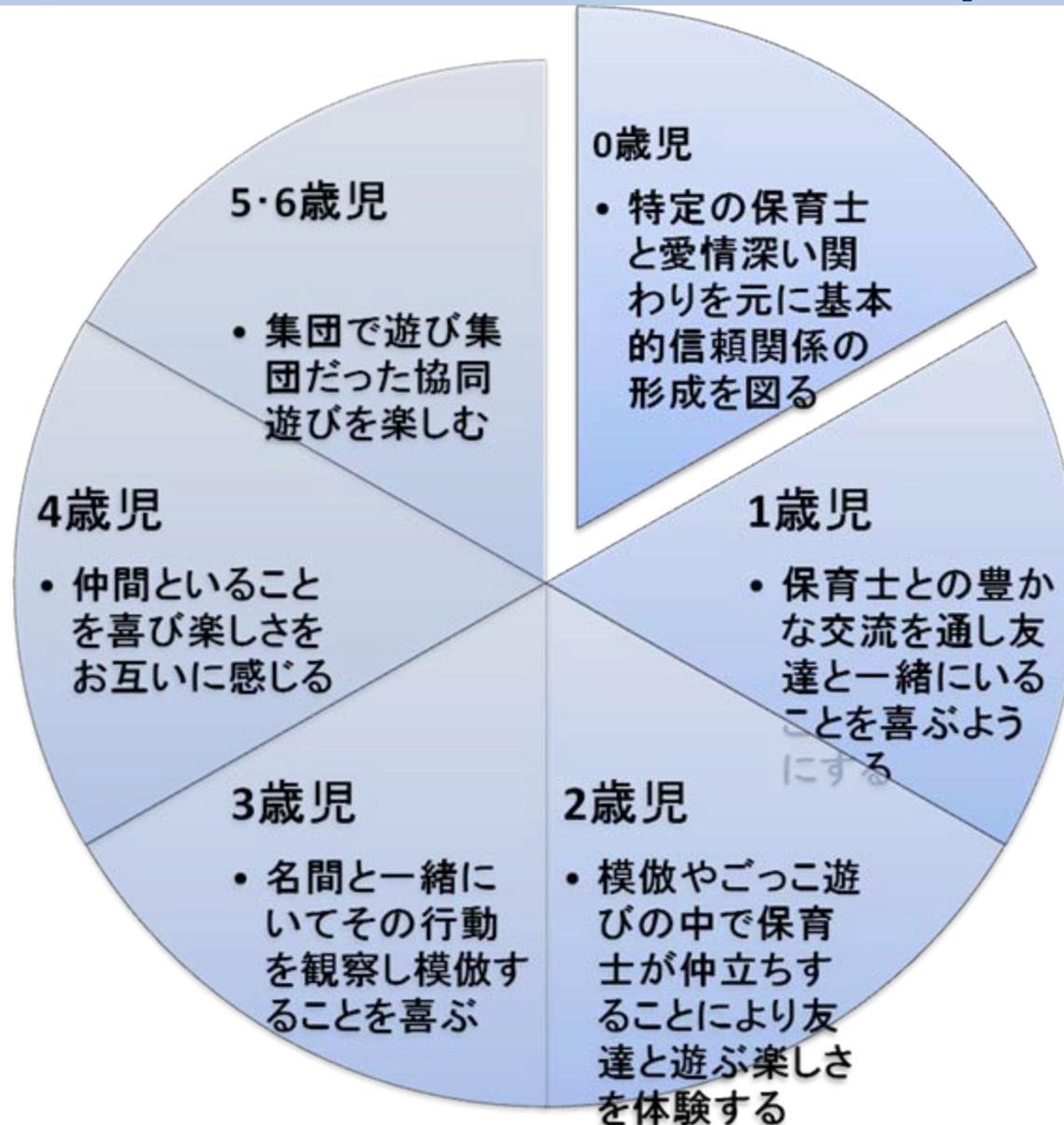
看護師・栄養士・調理師

小児科医……………

歯科医……………

非常勤医師

# 友達とのかかわり



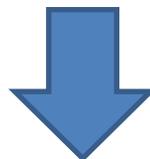
保育士と愛情  
深い関わりをも  
とに基本的な  
信頼関係の形  
成を図る

0歳児



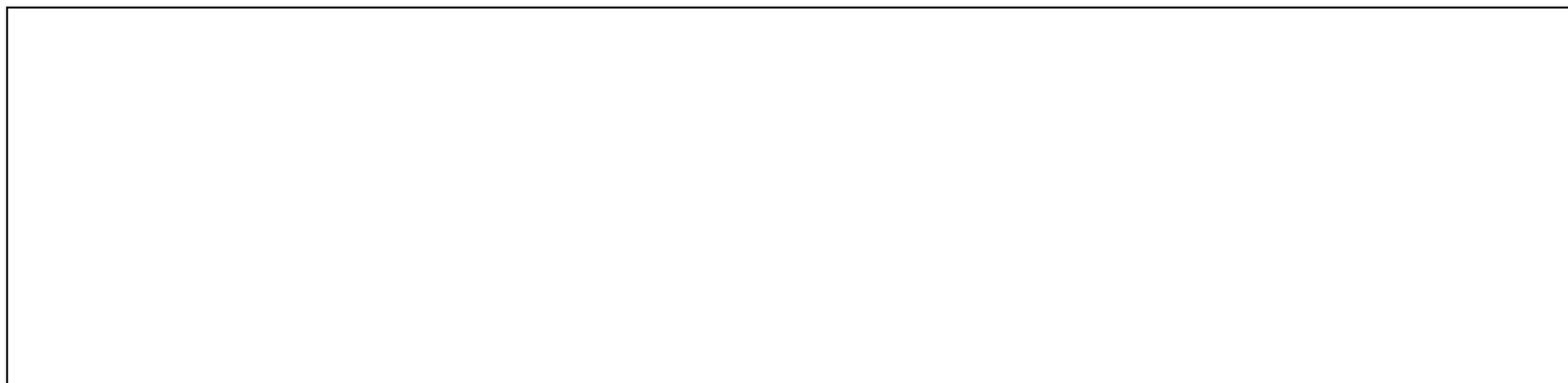
保育士と豊か  
な交流をともし  
友達と一緒に  
いることを喜ぶ

1歳児



模倣やごっこ遊  
びの中で保育  
士が仲立ちす  
ることにより友  
達と遊ぶ楽しさ  
を体験する

2歳児



仲間と一緒にい  
てその行動を観  
察し模倣するこ  
とを喜ぶ

3歳児

仲間といること  
の喜びや楽しさ  
をお互いに感じ  
る

4歳児

集団で遊びそし  
きだった共同遊  
びを楽しむ

5・6歳児

# 生活・遊びを通じた総合的な関わり

健康

看護師・園医による健康教育

当番活動・植物の世話

当番活動・食育教育

# 生活・遊びを通じた総合的な関わり

人間関係

遊びをとおし  
て世代を超  
えたかかわり

遊びをとおし  
た年齢児との  
かかわり

# 生活・遊びを通じた総合的な関わり

## 環境

自然環境を生かし実体験にもと  
づく食育活動

園庭でのみかん狩り

干し柿づくり

園庭でのさくらんぼ狩り

# 生活と遊びを通じた総合的な関わり

環境

地域の方による  
ボランティア活動

# 生活・遊びを通じた総合的な関わり

言葉

表現

日々の豊かな保育活動  
による表現  
活動

# 連携を考える

## 久が原保育園

- 小学生からの学びや刺激を遊びや生活の中に生かし経験の幅を広げる。
- 小学生の行動から集団の中での行動の仕方を知る。
- いろいろな人と関わり、自信をもって行動できる。

## 久原小学校

- 一年生の生活科の学習内容の充実を図る。
- 豊かな体験や具体的な活動を通して学ぶ。
- 幼児と関わることで成長の過程を自覚し自信をもって行動する。

# 互恵性を大事にした交流

- 幼児と児童の連続した学びや育ちを大切にする交流活動
- 幼児と児童の成長を支えるための計画性のある交流活動
- 幼児と児童双方に、主体性をもった交流活動

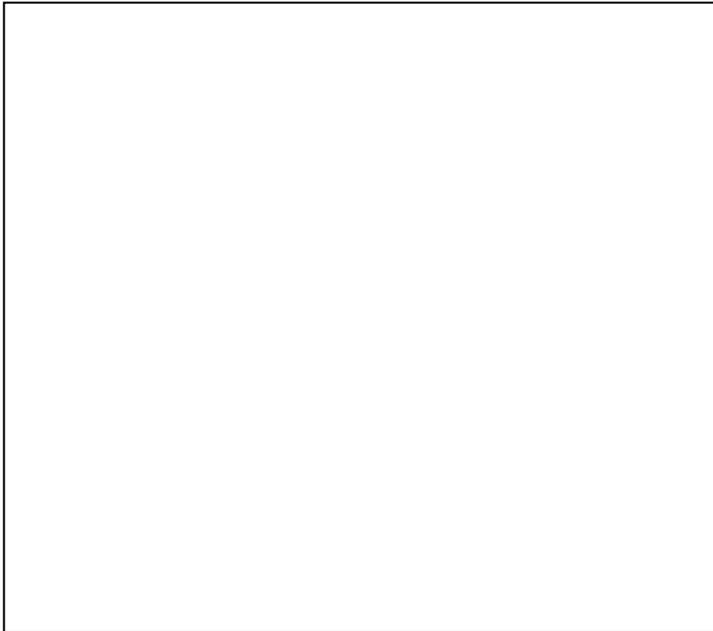
# 協働で創る相互に育ち合う子どもたちの学習

活動例

## 『秋さがしをして遊ぼう』

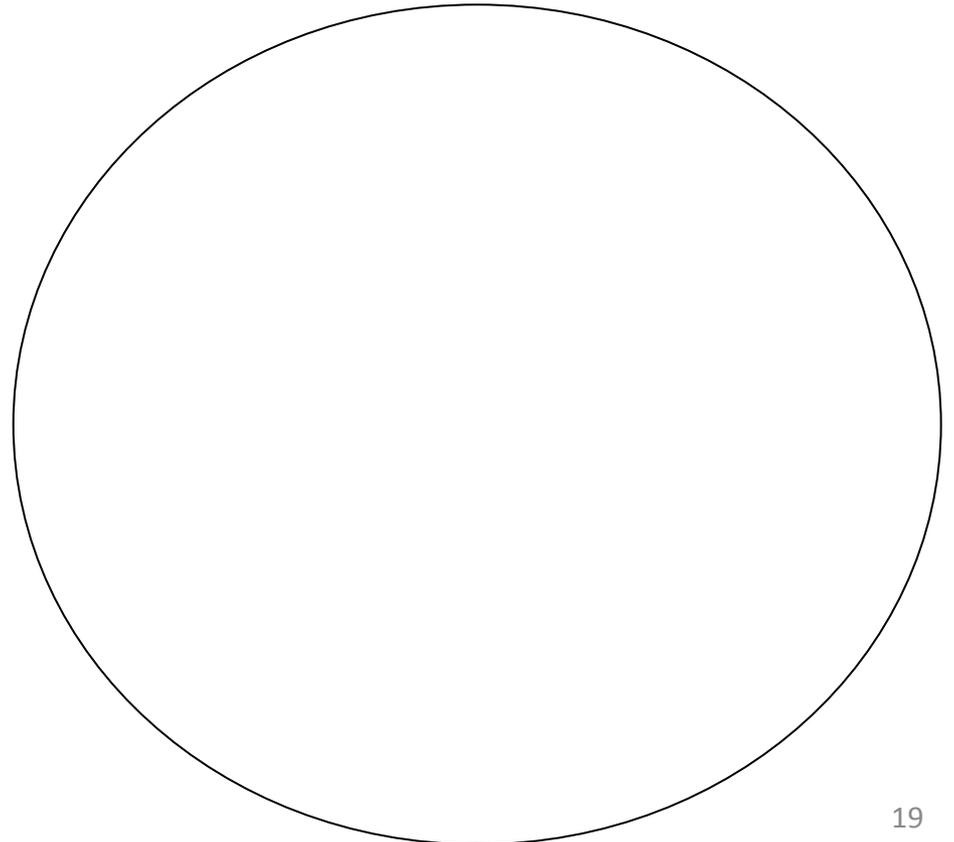
1年生単元の目標	相互活動	年長児目標
<ul style="list-style-type: none"><li>・春の遠足でのことを思い出し、季節の変化や自然の様子に関心を持つことができる。</li><li>・葉や木の実など自然のものを工夫して使い、遊ぶものを作ることができる</li><li>・園児に教えてあげたり、友だちと協力して活動したりすることにより、人とかかわることの楽しさを味わう</li></ul>	<p style="text-align: center;">← 保育・教育の連続 →</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・秋の自然に関心を持ち自然物を遊びに取り入れようとする</li><li>・小学生の児童と散歩先で一緒に集めた自然物を使って道具を製作し、その遊具をとおしてグループで一緒に遊ぶことを楽しむ</li></ul>

# お店屋さんの活動での交流



保育士と教師がともに活動の展開をする

カードを使ったお店やさんごっこ  
でペアになった一年生の説明  
を聞いて活動の仕方を知る



# 連携活動で育ったこと

園児に育ったこと	児童に育ったこと	保育士、教師に育ったこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校を身近に感じられるようになり、喜んで交流活動に参加するようになった。</li> <li>● 児童の刺激を受けて遊びが広がり、工夫し、考えて展開することができるようになった</li> <li>● 児童の学習態度から授業に臨む姿勢をみて真似たり、意識的に行動しようとしたりするようになった</li> <li>● 教師を身近に感じ、教師の役割が理解できるようになった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分自身の成長の振り返りの機会になり、自信を持って行動することができるようになった</li> <li>● 年下の子をお世話することで思いやり、いたわりの気持ちを持てるようになった。</li> <li>● 園児との交流活動を通して生活科の学習内容が更に深まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育士は幼児期から小学校生活を見通した保育を展開していく視点を持つことができるようになった</li> <li>● 保育士、教師共に幼児期から児童期への発達連続性に対する理解が深まった。</li> <li>● 保育園で教師が保育実習をすることや、小学校で行われた教師の研修会に参加することでお互いの仕事環境、内容の理解が深まった</li> <li>● 地域の子どもたちの成長を総合的に保育士も教師も考えられるようになった</li> </ul>